

# エリアとくらそう

第14号 2012年11月

発行：社会福祉法人

時津町手をつなぐ育成会

西彼杵郡時津町西時津郷 1156

Tel：095-882-7585

## 第34回 ゆうあいスポーツ大会 5月13日（日）県立総合運動公園 野球広場

当日の天候は曇り。とても過ごしやすく、「あっ」という間に終わった感じがしました。みんな、とびっきりの笑顔、笑顔。慣れてきたのか適度におしゃべり。リレーには、選手と応援に分かれて全員参加。一致団結で3位を獲得。練習が少なくても、ヤル時はヤル、みんなでした。（武）

### ～みんなからのコメント～

- パン競争と玉入れ、楽しかったです。（嶋田さん）
- 初めてゆうあいスポーツ大会に出て楽しかった。玉入れとパン食いに出ました。また来年もゆうあいスポーツ大会に出たいです。（安野さん）
- リレーの応援楽しかった。（山内さん）
- 今年5月、ゆうあいスポーツ大会で育成会リレーは3位になりました。50m・100mを頑張りました。（加藤さん）
- 【俳句】 お弁当 食べたその後 おやつ食う  
（坂本さん）

みんな大好き♡  
がんばくんが  
来たらこの通り



★みなさんおつかれさまでした★

売上…エリア：83,210円 育成会：71,758円

## とぎつ夏まつり ～8月26日（日）とぎつウォーターフロント～



お天気良過ぎの  
炎天下...  
から揚げ&ドリンク

料理長が作った唐揚げと生ビール、サワー、ジュースなどを販売しました。天気は晴天、売れ行きは好調で、閉店時間前には完売することができました。

残念なことに、育成会とテントの場所が違い、離れての出店になりました。

今年は例年より、自由時間を長くとりました。「あっちに行こう！」「こ

っちのかき氷が安い！」と相談しながらエンジョイしていたようです。また、時津夏まつりならではのスノコ作りにも取り組んでいたようです。釘を打っていたようですが、斜めになったり、曲がったり、たま



出店唯一の  
エリアカレー！  
売りまくるゾ～

には指をたたき…と苦戦しながら頑張っていました。出店を堪能した後は、みんなで保護者の方が作った育成会のカレーを購入し美味しく食べました。

夕方まで手伝っていただいた保護者と利用者が親子のように協力しながら販売している光景が印象に残った夏まつりでした。（岸）



まっすぐ  
打てるかな...  
暑いよ～



スマイル=¥0  
キレイどころで  
フリーマーケット♪

楽しかったね♪

# 運 動 会

10月14日(日)県立盲学校グラウンド

寒くも暑くもない気温で少し曇った日曜日。みんなが待ちに待った運動会です。この日は5名のボランティアさん、20名近くの来賓の方もお見えになり、会員や家族と一緒に競技に参加されるひと幕もありました。企画段階から育成会メンバーで練ってきたので、競技も定番からユニークなものまで、数多くありました。



←「天秤かつぎリレー」は、赤・白・青の3チームが、2ℓのペットボトルを吊した竿を担いで、リレーするもの。来賓の盲学校・島田校長先生がかつての教え子Sさんと協力して天秤かつぎ。Sさんも大好きな先生と一緒に、本当に楽しそう(\*^\_^\*)

人気競技の「パン食い競争」→では、お約束、ルール無視の手づかみ作戦がちらほら…(笑) そうですね、「ロじ

ゃお行儀悪い」ですね(笑)「桜の庵」のおいしいそうなあんパンに、ボランティアさんも思わず「やりたい!」もちろん、参加していただきました♪



←お昼前最後の競技は「玉入れ」。通常の玉入れと違い、カゴが逃げます。入れる方も全力、逃げる方も必死(笑) ヘルメットもかぶっているのに、カゴ役からは「痛いっ! 痛いっ!!」と悲鳴が。この声を聞くと、笑顔で玉を投げつけ、追い回すみんな…この競技は次回もエントリー決定ですネ!

みなさんのご協力のもと、楽しく無事に終了した運動会。今回ボランティアの学生さんに、感想をお寄せいただきました。

私は今回のボランティアに参加して、利用者みなさんと運動会を楽しむことができました。思っていたよりも、みなさんが気さくに笑顔で話しかけてくれたので、いろんな方とたくさん交流することができました。ちょうど今、大学の授業で社会福祉について学んでいて、時津は他の市よりも社会福祉の制度が進んでいるということを知り、さらに授業に対する興味が湧きました。家に帰ってから早速ネットでレストラン「さきの」を検索して調べてみました。写真を見てどれもとても美味しそうでした。今度ぜひお邪魔して、利用者さんとまた再会したいです。また今回のようなボランティアがあったら参加して利用者みなさんと楽しい思い出作りをしたいと思います。ありがとうございました。(長崎大学・多山 花奈)

多山さんはじめ、みなさんありがとうございました♡



## 時津町手をつなぐ育成会 定期総会開催 6月9日(土)時津町総合福祉センター

理事長からの5か年計画が発表され、障がい者の雇用確保や会員の増加が目標に掲げられました。また、長崎市手をつなぐ育成会・谷理事長の講話もあり、今後の会員の増加につなげるため、育成会の活動に求められている昨今の状況と課題について研修しました。

行って  
きました！

## 研修部活動

# 成年後見制度とエンディングノート

7月4日（水）9月4日（火）時津公民館



講師のかくくにこさん  
(NPO 法人 市民後見人  
の会・ながさき理事長)

親亡き後の生活は、障がいのある人にとって避けては通れない問題です。不安は多くても少しでも向き合い、準備をしておけば、安心できることも増えていきます。今回は、自身で判断することが難しい生活上の課題を代行・お手伝いしてもらう制度＝「成年後見」について、またその続編として「エンディングノート」＝自分の希望をつづった、家族に残す記録について学びました。

講師のかくくにこさんはすでに数件の後見をされている「市民後見人」。実務やそれにまつわるエピソードから、障がいのある人以外にも、判断が難しくなった時の私たち、つまりどの人にも関係ある制度



どちらも約20名が  
受講しました

だとわかりました。知的障がいを持つ社会人のお子さんを残し、46歳で他界された愛知県の女性の遺言ビデオを見て、この制度をより現実的に受け止めることができたのではないのでしょうか。他にも、「日常生活自立支援事業」についても両制度の相違点を比較するなどして学習し、地域との日頃のつながりを作っておくことが、将来の生活の支えになることが理解できました。

また、2回目の研修では、私たち自身が将来のために準備できることを学習。「わたしのおぼえがき」という冊子の設問に答えていくと、判断能力が衰えた時でも、介護・延命措置・葬儀・遺産などについて意思を文書で残しておくことができます。自分自身と残された家族のためにも準備しておきたい「エンディングノート」でした。元気な時に死に際を想定するのは難しいですが、覚悟を決めて正面から向き合うきっかけをもらった研修会となりました。（那）

## 長崎県手をつなぐ育成会・五島大会

8月5日（日）福江文化会館

初めての離島での県大会。前日より田平さん親子と参加、青空の下美しい教会・砂浜・灯台を見学し、とても満たされた気分です翌日の大会へ臨みました。

記念公演（キリスト教、五島へ…）に続いて、シンポジウムでは一人の母親が【親の願い】というより、今ご自分が直面している兄妹の関係を発表されました。妹さんが兄の存在を疎ましく思われ、それが態度に出ることがあり、兄妹が仲良くできない悩みを涙ながらに訴えられました。

一方【私の願い】では、本人さんたちは「いつも無条件で親の喜ぶ顔が見たいし、そして幸せを願っている、そのためにこれからも頑張りたい」と発表。なんだか胸がキューンとなりました。とても楽しい有意義な二日間でした。（加藤）



会場前での  
記念撮影←

炎天下の  
大会参加、  
おつかれさま  
でした！

## お疲れさまでした<m( )m> さきの&エリア農園草むしり



6月・7月と保護者や職員でさきのの庭園やエリア農園の環境整備をしました。今年は雨も多く、しっかりと草が茂っていましたが、草刈り機や人力で腰痛

と闘いながら、地道に作業。すっきりとした景観にすることができました。

農園ではさつま芋が豊作の予感…さきのの庭も今秋はコスモスが見頃。お客様の眼を楽しませています。みなさまありがとうございました！



## よろしくお願いします 岸部希さん法人事務局担当へ

エリア21事務局の岸部希さんが、4月1日付で育成会事務局の担当になられました。いつも爽やかな声と丁寧な言葉づかいで場を明るくしてくださる希さん。業務内容に変わりありませんが、更に育成会関連で、引き続きお世話になります。

# アビリンピック(障害者技能大会)出場 市川さん銅賞受賞！ 7月8日(日)県立長崎高等技術専門校

障がい者の就労促進や地位向上をめざし、職業技能を競技するこの大会は今年度 34 回目。エリア 21 からは「喫茶サービス部門」に6名の方が出場しました。多くの審査員に囲まれる独特の雰囲気は、練習を重ねたメンバーにもすごいプレッシャーだったようです。その中で市川祥子さんが見事銅賞を獲得！！就労に向けて、励みになる結果となりました。素晴らしい挑戦をされたみなさんの感想をお伺いしました。(以下原文のまま)



↑市川さんと理事長で町長に受賞報告

エリア 21 から出場した、  
6名のみなさん→



- ☆この大会を初めて知った頃から出てみたかったので、大変良い機会となりました。「絶対入賞できる！」と信じて良かったです。新しい才能が開花した気がします！(市川さん)
- ☆アビリンピック当日緊張して、えがおで接客できなかったのですねんです。(平埜さん)
- ☆アビリン大会に初めて参加してみて緊張しすぎて忘れた！来年は、金賞をめざします！(金谷さん)
- ☆練習も、本番も緊張したけど、来年アビリンピックも出たいと思います。楽しかったです。(西岡さん)

☆アビリンピックに出てとってもよく頑張りました。でも少し緊張しました。でも言葉は出ました。(三岳さん)  
☆TVに写りました。練習は、ドキドキしました。来年も頑張りたいと思います。(岩田さん)

## ～スタートから半年～ グループホーム「ドリーム」は…

念願だったグループホーム「ドリーム」の運営が始まって半年経過しました。入居者 4 名と体験入所 1 名の定員でスタートしましたが、世話人さん 3 人に交代でお世話になりながら、体験入所も希望者が後を絶たない人気ぶりです。

「ドリーム」は男性棟で、体験入所の方以外はすべて男性。でもそこは、イマドキ男子ですから、「出来る家事は自分で！」がみなさんの目標の一つです。

どんな流れで毎日を送られているのか、世話人さんはどんなことに気を付けているのか、お話を伺ってみました。

「一番大切にしているのは、家庭的な雰囲気作りです」と話されるのは主に夕食を担当して下さっている田平さん。「入居者さんにとってはここが“家”になるのだから、ホッとできる空間作りと、一番の楽しみである食事には気を遣います」。個人差はありますが、それぞれが洗濯や掃除、皿拭き、食器の片づけなど、家事のスキルを磨きながら、協力し合って生活しているそうです。

一方で入居者のご実家では、電化製品の扱いが得意な K さんが不在のため、録画や洗濯機などのタイマー設定ができず、困らされているとか…(笑)

誰でも新生活を始めるのは大変なパワーがいるものですが、家族の方にも準備が必要なのですね。今度は女性入居者のためのグループホームがあったらいいな、という声も出ています。

実現するかはわかりませんが、どこにいてもその人らしく暮らせるよう、入居者・家族・世話人全てが安心できる生活の場作りのノウハウを、今後も学んでいきたいと思っています。(那)



↑みんなで祝う、  
利用者さんのお誕生日♪  
こんなお楽しみもあります



世話人の田平さんに  
お話を伺いました

### ★ ドREAMの ★ スケジュール

- 6:00～ 朝食(準備)
  - 7:00～ 朝食・出勤  
掃除・買出しなど
  - 16:00～ 夕食準備
  - 18:30～ 夕食・片づけ  
入浴・洗濯など
  - 22:00～ 就寝
- (時間は個人差あり)